



おもしろパーズ

ういっしゅ堂



その寝顔は実に子供らしく
かわいいものだった



ひよんな事からー



ああもう、八九寺、
布団飛ばしちやって……るぞ……!!

○学生を誘拐……
もとい幽霊を部屋に
連れ込んでしまったわけだが

された当の本人
八九寺真宵は、スヤスヤと
僕のベッドで寝息を立てていた



八九寺の、かわいらしい
お尻の……
この、これは、まさか



僕は、確かめずには要られずに
起こさぬようにそつと
パジャマの下を脱がしてしまった

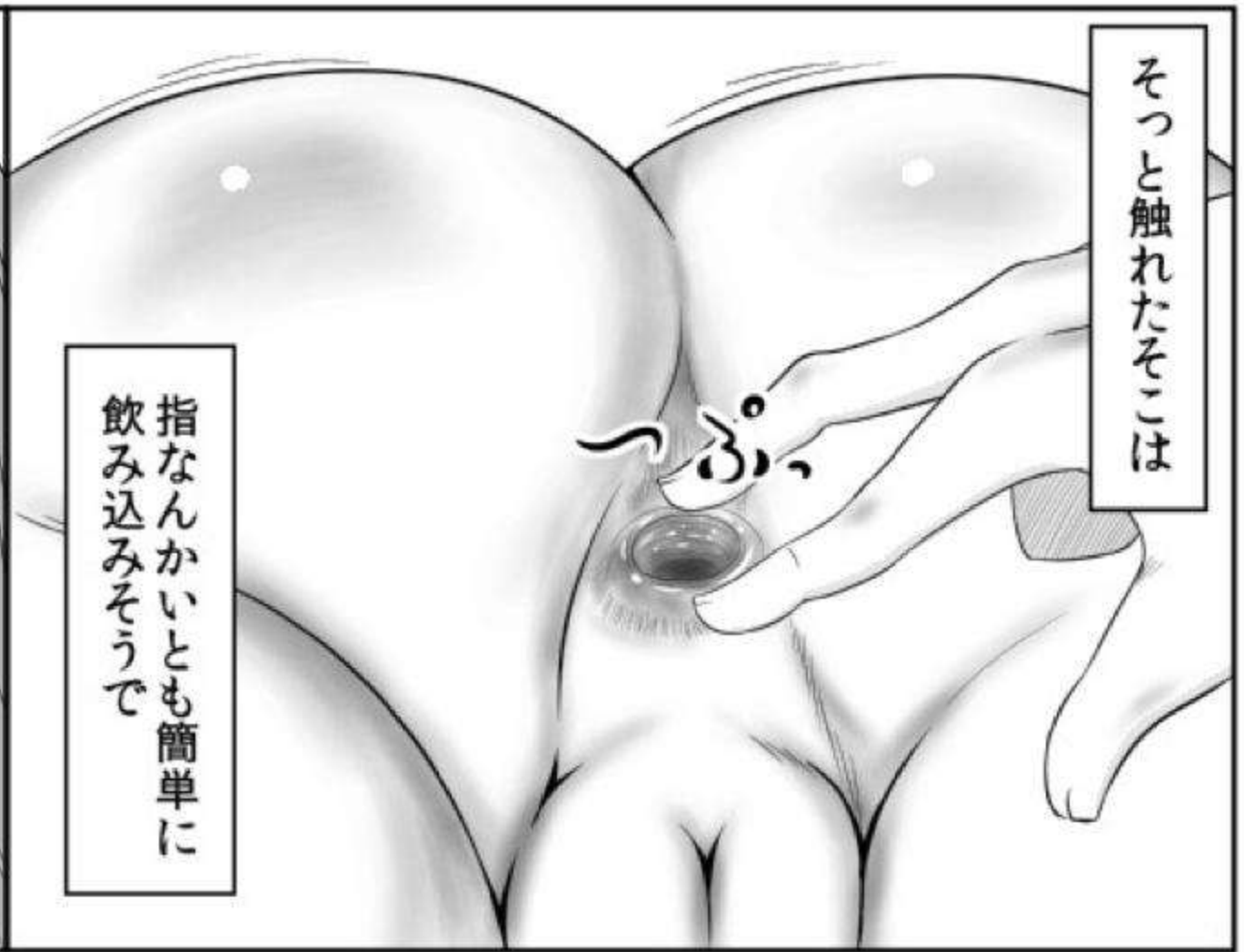


下着もはいていなかった八九寺の
そこには黒く光る怪しげなもの
いつだったかある特殊な趣味の本で
見たことのあるモノだった

それは「アナルプラグ」と呼ばれて……
いや待て、そうじゃなくて
八九寺お前は何故こんなものをつり!!

引き抜いてしまったその跡に
見えた「穴」は「可愛い」とは言えない
とてもいやらしくうごめいていた





そつと触れたそこは

指なんかいとも簡単に
飲み込みそうで



飲み込んで

それを歓迎しているかのよう
にぬらぬらぬるぬると

反応した



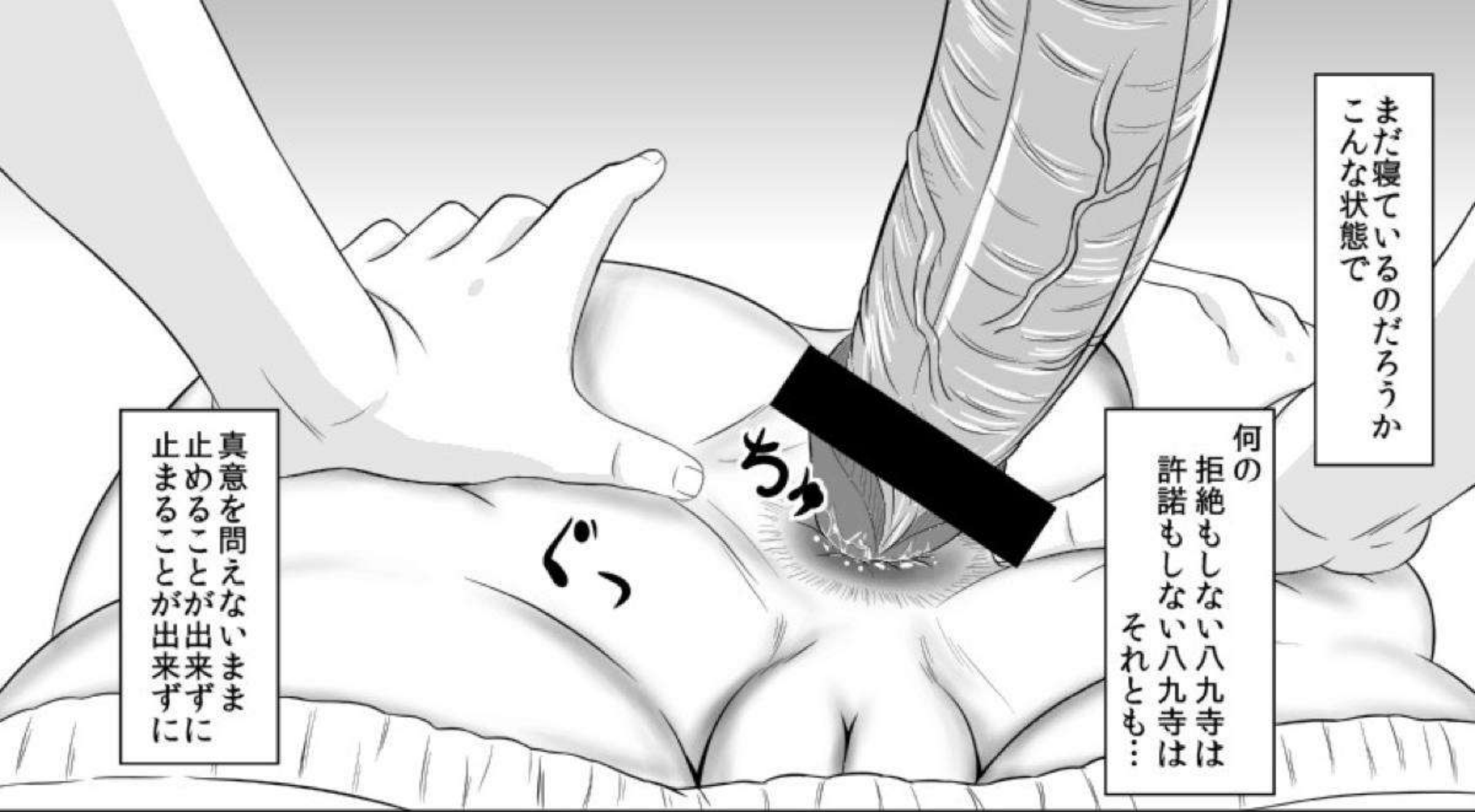
そもそも

あんな太いモノが
入っていたのだから
それも当然だった

まだ寝ているのだろうか
こんな状態で

何の
拒絶もしない八九寺は
許諾もしない八九寺は
それとも…

真意を問えないまま
止めることが出来ずに
止まることが出来ずに



僕は

八九寺のアナルに
挿入した

ずいり

にちゅ
ちゅ



ぬ
ぬ
ぬ

ふっ…う
んう

ハア ハア



そつと腰を動かす
八九寺がまだ、起きてないと言う体なら
こつちも起こさないようにというつもりで



そしてついに八九寺は
甘い声を出した

はッ
あぁっ

ん...

ふう...



その声に
僕は激しく腰を動かした

八九寺ッ!!

八九寺ッ!!

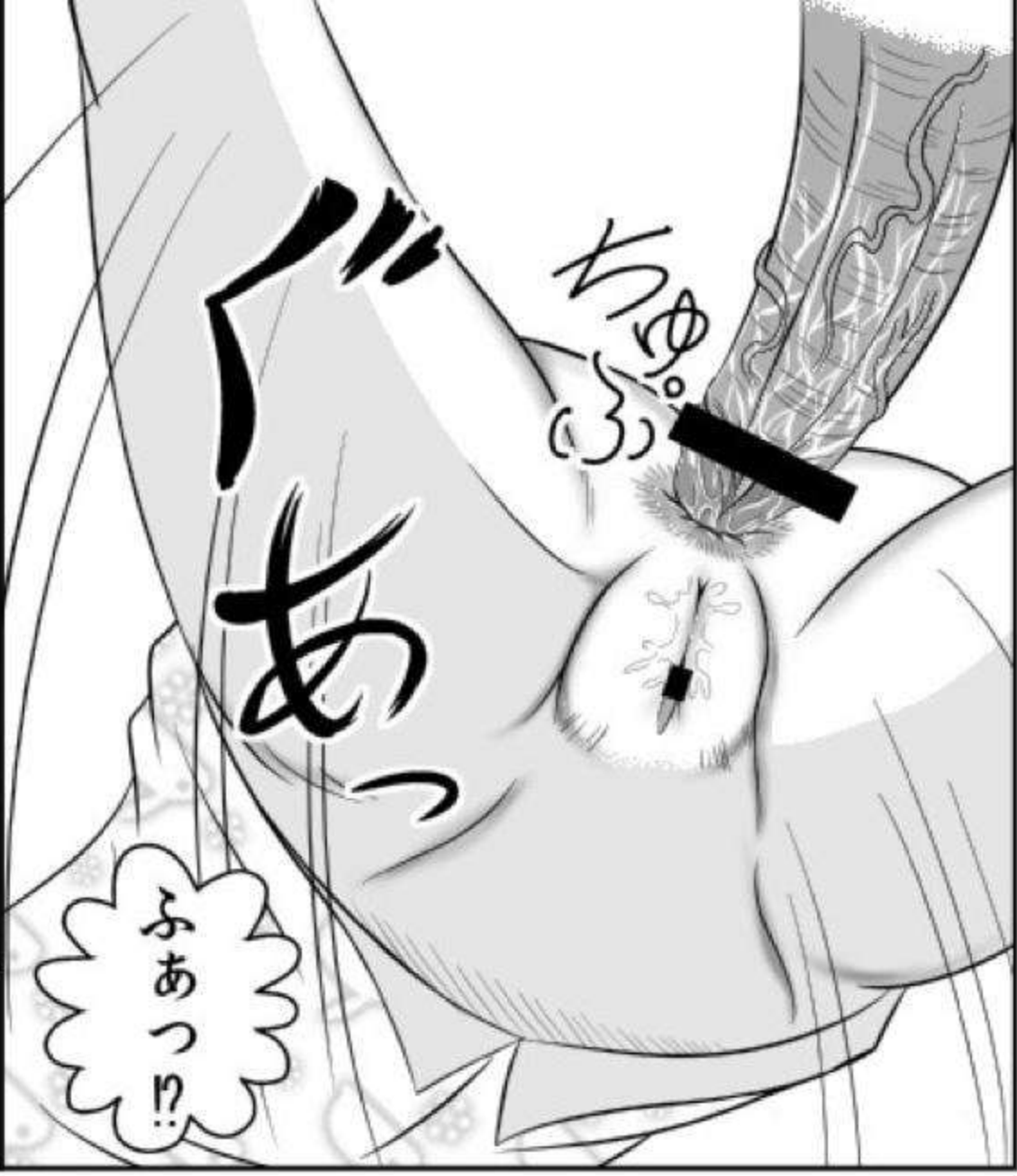
はぁッ

あんッ

ほぁっ

あぁっ

あぁっ



射精すぞ！

八九寺ッ！

ビビビビ

ビビッ

ビビ

ビビッ

ドクドク

ビビ

ハハハ

ビビ

ああああ
ああああ
ああああ
ああああ
ああああ
ああああ

たつぷりと射精した
ちんこを引き抜くと
彼女は

栓を戻して…ください
…こぼれない様に

と、短く言った

ちっ

ゴ





……アナル木さん

ほ、僕の名前は
阿良々木で……

失礼。噛みました
ケツ好きさん

違うわざとだ……
それに
女の子がケツとか言うのは
よ、良くないと思うなア

かみまみた

わざとじゃないっ!!

犯された

わ、わざとじゃ
ないんだあー
お前が
こんな物つけているから……

こんな物を
付けていたからと言って
寝るところを犯して
良い訳では無いんですよ?

うッ……
す、すまん

結局
八九寺がそれを付けていた理由は
ページ数的に謎のまま終わるらしい

阿良々木さんっ

去り際
振り向いた彼女は言った

またいつか
ベッドを借して下さいね?
その時は……♥

その時は——
続きを言わないまま
八九寺真宵は帰って行った
……リュックを忘れて

END.

